

広報 新潟水協

令和6年4月20日
新潟水泳協会
関屋大川前1-3-31-7
石見 鉄夫
TEL・FAX(025)265-7481
株式会社ハイングラフ

次への躍進を目指して

会長 坂本和幸



おおっ！と思わず足を踏ん張った。思いのほか揺れが長い。同居の4歳はすぐに「大変だ！」と叫び、テーブルの下に潜り込んでダンゴムシの恰好をした。

当初は大きな地震とは思わなかった。日が経つにつれ西区の被害に胸が痛んだ。被災された皆様には、今更ながらではあるが心からのお見舞いを申し上げたい。日常生活が奪われるというのは、体験してみないとわからないものがある。どうか健康で早い再建・復興を願っている。

また、西海岸公園プールの被害については影響が著しい。日頃の練習はもちろん、各種水泳大会等も7月分までは、ほぼ長岡DPFプールでの開催となった。なんとも言い難い。今後、どのように競技役員力を高めていくか、重要な課題であると認識している。

幸い西海岸プール以外は大きな被害もなく、それぞれ通常どおりに運営できているようなのでホッとしている。今後も普及・強化にご尽力いただければと期待している。

さて、個人的な考えだが、水泳協会の役割の第一は「命を守る水泳」と考えている。海・池・川等に落ちた時にいかに自分で自分の命を守る（救う）かである。それではどの程度の泳力があれば良いのか。小学生では休みなく500m。中学生では800mを最低と考えたい。ゆえに、学校での水泳授業がなくなっている今、水泳協会の普及部やSC等の役割は極めて大きいと考えている。どうか「命を守る水泳」を基本に次のステップとして、競泳・AS等の競技に勤しんでもらいたいと思う。

また今後も、ますます会員を増やし、指導や競技運営等を充実させるとともに、全国大会・国際大会も開催できるプールの建設を目指していきたい。もちろん、新潟水泳協会会員一同のご理解とご協力がなければ実現しないことでもあると考えている。よろしく願いたい。

なお、今回の被災に対し岩手県水泳連盟競技部から義援金が贈られてきた。もちろん、東日本大震災時の感謝も込めてであろう。ありがたい。今回の被災対策用に使用させていただいている。義援金のみならず気持ちの上でも大きなパワーをいただいた。大変感謝している。現在、成績でお返ししようと考えている関係者一同励みに励んでいるところである。



故松山正男先生への感謝の言葉

会長 石川 志郎



謹んで松山正男先生のご霊前に、哀悼の誠を捧げ、安寧なるご冥福をお祈り申し上げます。

先生の本県教育界と水泳界に顕されたご功績を思いおこすとき、今さらながらその偉大さに打たれるのであります。先生は新潟第一師範学校在籍中は競泳の選手として活躍され、教師になってからは「水泳の普及」のために尽力され、全県のリーダーとして無くてはならない存在だったと伺っております。また、新潟市小学校教育研究協議会長として、新潟市における教育水準の向上のために果たされた業績は顕著でありました。

新潟水泳協会の会長として、県水泳連盟の副会長としてその豊かな誠見と確固たる指導性を発揮され、県水泳界の発展のため大きく貢献されてこられたことは言うまでもありません。生前、先生が機会あるたびに言われていた「子供は宝である。その子供の可能性を伸ばすのが我々の役目なのだ」は忘れることなく私共の共通の意識となっております。

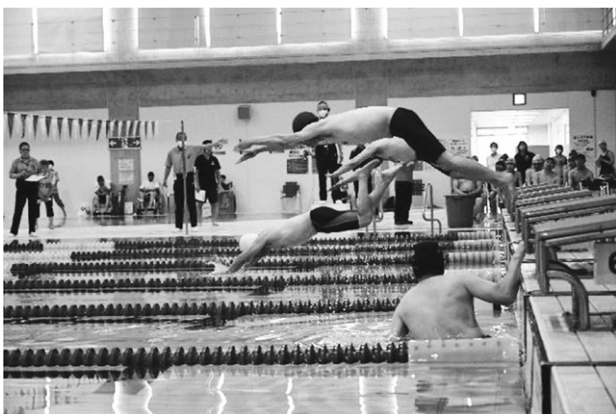
松山先生、多くのご教導 誠にありがとうございました。先生のご冥福をお祈り申し上げ、感謝の言葉と致します。合掌

HS部 大会報告

第24回新潟県障害者スポーツ大会

令和5年5月28日(日)

5月28日(日)に新潟市西海岸プールで第24回新潟県障害者スポーツ大会水泳競技大会が行われました。新潟県内の障がいの手帳を有する小学生から大人、そして県内特別支援学校、特別学級の生徒を合わせて50名の選手が出場しました。



特別全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」(令和5年10月28日～30日)に選ばれた選手は下記のとおりです。

新潟市 (3名)					
氏名	障害区分	年齢区分	種目名	記録	順位
笠原 誠一	20	2部	50m自由形	42秒08	1
笠原 誠一	20	2部	25m自由形	18秒58	1
買場 悠太	26	青年	50m自由形	31秒37	4
買場 悠太	26	青年	25m自由形	16秒19	6
五十里屋遙空	26	少年	50m自由形	34秒24	5
五十里屋遙空	26	少年	25m自由形	15秒99	5

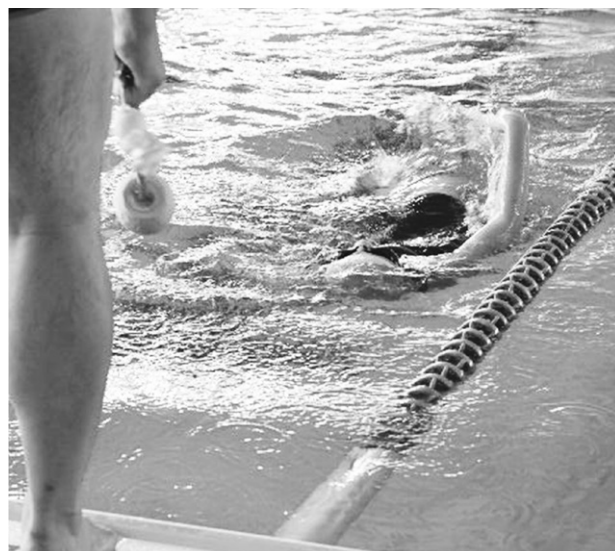
新潟県 (4名)					
氏名	障害区分	年齢区分	種目名	記録	順位
水野 徹	24	2部	50m自由形	30秒88	2
水野 徹	24	2部	25m自由形	13秒86	2
山田 講治	21	2部	50m自由形	39秒62	2
山田 講治	21	2部	25m自由形	17秒61	1
遠藤 立公	26	青年	50m自由形	30秒20	3
遠藤 立公	26	青年	25m自由形	13秒57	3
恩田 桂太	26	青年	50m自由形	28秒87	3
恩田 桂太	26	青年	50mバタフライ	32秒55	3

ふれ愛水泳記録会

令和6年2月24日(土)

令和6年2月24日(土)ふれ愛プラザでふれ愛水泳記録会が行われました。

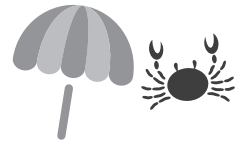
障がいをもつ方小学生から大人まで35名参加しました。初めて参加した選手はとても緊張していましたが、いい結果を残しました。



視覚障害者の選手のターンやゴールタッチでは、頭または額を壁の手前でポンッと叩いて合図を出し、選手はその合図をもとにターン、ゴールタッチをします。



私 と 水泳



古俣 岩男



私が水泳を始めたのは、勤めを七十二歳で退職し、近くの西総合スポーツセンターで身体を動かす運動をとの思いが最初だった。トレーニングをしようとして年間パスを購入し家に帰り女房に話したら、プールで歩行や泳ぎの方が身体を全体に動かすから、水泳を始めた方が良いと言って譲らない。お金を払ってまで水泳をしなくてもと思っていると、数日後スポーツショップから水着などを買ってくる。

私は小学生の頃の夏休みは、母親に頼まれた使いなどを忘れて、毎日夕方まで海で遊んで家に帰り叱られていた。そんな泳げる私が、何でお金を払ってまで泳ぎをと思いプールに入って驚いた。身体が浮かばない、鼻に水が、水を飲み込み咽る。子供の頃、海で泳いだのは何だったのか？翌日から顔を水に入れる、鼻から息を吐く練習を何日経っても上手く出来ない（運動神経が鈍いと思い込む）、周りを見ると皆上手に泳いでいる。私は焦るばかり。ビート板を使ってバタ足の練習で、バタ足のやり方が上手くない、何時になったら泳げるのか？プールに行く時間帯になると腹痛、風邪にこじつけて休みたい（登校拒否する子供の気持ちが分かった）。ある日女房の知り合いが声を掛けてくれた。その方が浮く練習を助言してくれた。海と違って浮かばない、でも繰り返し練習していると浮いた。周りの方々からも、今のタイミングを忘れずに練習を続けた方が良いとアドバイスを貰う。毎日練習しているうちに12.5 mまで泳げるようになった。繰り返し練習している時、水協レディース部の先生が声を掛けてくれた。このプールは25mだから、12.5 m泳げたら残り12.5 m泳ぐと合計で25m。そのうちに25m泳げると言ってくれた。その言葉を聞いた時、私はやる気がでた。休館日を除いてプールに行くのが楽しくなり、今日は昨日より少し距離を延ばす事を心掛けて練習をした。プールの帰りに教室参加募集の案内（シニアの為の水泳教室、クロールで25m目指そう）を見て、即く申し込みした。教室開催日、皆についていけるか？心臓ドキドキ、先生から基本を教えて貰っているうちに少しずつ泳げるようになり、教室参加の方と今日は14m、来週は20mと冗談を言いながら練習を、気が付いたら25mを泳げることが出来た（最高に嬉しかった）。その後、他の教室（平泳ぎ、クロール背泳ぎ）コースにも参加、また西海岸プール、西総合スポーツセンタープールで開催される（教えて水泳）教室に参加し、腕足などの動かし方を教えて貰っている。開催日にはなるべく参加しています。

先日水協レディース部の先生が、泳ぎはゆっくり25m50m75m100mを泳ぐ練習をと声掛けしてくれた。また泳ぎは未熟だが、もっと練習をして体力の続く限り頑張ろうと思っています。



今年の抱負

★ 練習でがんばったこと

◆AFAS豊栄 百瀬 諒哉

ほくは、大会の時にミスをして悔しい思いをしました。一つ目は、背泳ぎのターンです。ターンをするタイミングが早すぎて、強くかべをけることができずに、タイムロスをしてしまいました。このことをきっかけに練習では、5メートルラインの旗から手を4回かいた所で回るのが意識して練習しました。その結果ミスをすることが少なくなりました。大会でうまくターンができるように、練習を続けていきたいです。

二つ目は、バサロキックです。スタートの時のバサロキックでは、キックの力が弱いのと素早さが足りなくて、スピードが落ちてしまいました。ターン後のバサロキックも同じです。そこで練習では、ハードの所は、いつもより足を素早く動かして力強く水中をけるようにしました。そしたら、前よりもベストタイムができるようになりました。もっといいタイムができるように、力強いキックと、素早い足の動きの練習を続けていきたいです。

三つ目は、スタートです。大会の時にスタートの姿勢で、手と胸が近すぎて勢いのあるスタートができませんでした。練習の時に教えてもらった姿勢は、手と胸をあまり近づけすぎないようにすることと、後ろにおもいきりとおようにすることです。これを意識するようにしてからスタートが、少しくまくなったような気がします。これからの練習では、もっと勢いのあるスタートができるように、個人練習もしていきたいです。

ほくは、背泳ぎに出場することが多いです。背泳ぎで大事だと思うことは、腕の力です。理由は、水をかく時に力強く水をかければ速くなると思うからです。そのために家で、毎日腕立て伏せをしています。目標にしている7級のタイムを出せるように、腕立て伏せも続けていきたいです。

★ 水泳を通して成長したこと

◆JSSジャンボ 荒井 凜花

私は、水泳に出会えて本当に良かったと心から思っています。なぜなら、私は、水泳を通してタイムはもちろんのこと、人として成長できたと思うからです。私が水泳を通して学んだことは2つあります。

一つ目は、明確な考えや目標を持って取り組むことの大切さです。毎回の練習や大会では、泳ぎの中で良い点や悪い点が出てきます。

以前の私は、これらのことを頭で何となく考えただけで終わっていました。当然、その時はタイムは大きく伸びませんでした。そこで、どうして思うように伸びないのかを振り返り、明確な目標を立て、それをクリアするためにはどうすれば良いのか、自分の克服すべき課題を良く考えるようになりました。その結果、少しずつその成果がタイムに表れるようになりました。自分の頭で考え、反省を次に生かしていくことの大切さを知りました。

二つ目は、粘り強さや忍耐力です。私は、「NSTやBSNで表彰台にのる」という目標のもと、自分のフォームの癖や苦手な部分を意識して練習してきました。NSTでは、100m背泳ぎが予選2位通過でしたが、決勝でタイムを落としてしまい、4位で表彰台に上がることができませんでした。このとき、私は目標を達成できなかった悔しさと同時に、自分には決勝でタイムを落してしまうという課題があることを自覚しました。だから、BSNまでの期間の練習は、決勝でタイムを落とさず、効率よく泳げるように意識して練習しました。そして、BSNでは50m背泳ぎで予選4位から決勝でタイムを上げ、3位で念願の表彰台に上

がることができました。しかも、同じチームメイトの仲間と同タイムで、同じ表彰台に上がるという奇跡が起きました！私は、先輩方が表彰台に乗っているのを見て、「私もいつかあの場所に行きたい」と思っていたのですが、実際に自分が表彰台に上がることができて、とても感動しました。まさに「努力は実る」ということを実感しました。目標を達成することができたのは、失敗を生かして諦めずに粘り強く練習してきたからだと思います。表彰台から見た景色を私は一生忘れません。

このように、私は水泳から、自分を高めていく上で大切なことを学びました。また、私が表彰台に上がったのも、コーチや一緒に練習し共に高め合っていける仲間、そばで支えてくれる家族のおかげだと思うので、この環境を当たり前だと思わないで、私に関わる全ての人たちに感謝して、これからも練習に励んでいきたいです。

令和5年度 総務部事業報告

事務局 石見 鉄夫

◎総会

令和5年度総会 令和5年4月22日
ホテルサンルート

1. 各部の報告と事業予定承認
2. 令和4年度決算及び5年度予算承認
3. その他
4. 懇親会

◎理事会

臨時理事会 令和6年1月17日
鳥屋野総合体育館

第1回理事会 令和6年3月12日
鳥屋野総合体育館

- (1) 各部の事業報告
- (2) 予算、決算
- (3) その他

◎大会関係（主催の大会）

1. 新潟市年齢別選手権 令和5年8月27日
50m種目と4×50mレクリエーション
レー、水沼尚輝選手出場特別レース、AS部による模範演技
参加者 396名

2. 新水協親善公認記録会 令和5年11月19日
参加者449名

2024年度の当協会の主催・共催・主管する水泳競技大会

(会場は西海岸公園市営プールの予定、プール修理のため会場変更の場合あり)

大会	日時	主催
新潟県障害者水泳大会	5月26日(日)	障害者スポーツ協会
新潟県小学生室内選手権	6月9日(日)	県水連
第38回NST新潟県小学校選手権水泳大会	7月15日(日)	県水連
新潟市年齢別選手権水泳競技大会	8月25日(日)	新潟市、新潟水泳協会
新水協親善公認記録会	11月17日(日)	新潟水泳協会
JSCA新年フェスティバル	1月18日(土) 19日(日)	スイミングクラブ協会
JOC新潟県予選会	2月2日(日)	県水連

SC部 令和5年度の活動報告と今後の課題

SC部 松木 保

令和5年度の活動

1) 競技会

期日	競技会名	会場
4月9日(日)	第78回BC級大会	柏崎アクアパーク
4月23日(日)	第34回クラブ対抗大会	DPプール
5月21日(日)	第29回マスターズフェスティバル	西海岸プール
6月25日(日)	第48回信越小学生大会	柏崎アクアパーク
7月9日(日)	第66回A級大会 第11回チャレンジミート	DPプール
11月12日(日)	第79回BC級大会	DPプール
1月13日(土)・ 14日(日)	第50回新年フェスティバル	西海岸プール
2月18日(日)	第12回チャンピオンシップ 第6回CSチャレンジミート	DPプール

2) 研修会

期日	テーマ	会場
9月24日(日)	初心者への4泳法 (姿勢・重心・可動域)	アクシーひがし

3月9日(土)・10日(日)、(一社)日本スイミングクラブ協会が主催する全国マスターズスイミングフェスティバルがダイエープロビスフェニックスプールで開催されました。北海道から沖縄まで全国から739人のスイマーが集い、世界新記録が1つ、日本新記録が3つ誕生するなど会場は大いに盛り上がりました。

この大会を新潟県が主管するのは実に20年ぶりです。大人の大会ですから、実施するのは競技会だけでなく、選手・役員を招いてのウェルカムパーティーもあります。このパーティーのために実行委員は「マグロの解体ショー」を企画したり、新潟の地酒を数多く手配したりと、本業そっちのけで準備にあたりました。苦心の甲斐あり、大会もパーティーも大成功に終わったと自負しています。

私たちの様々な苦勞は、大会に参加した選手の皆

さんが嬉しそうにプールを後にする姿を見ると報われます。水泳コーチという仕事は水泳の技術を教えるだけではないとつくづく思います。水泳という共通の趣味を持つ人たちに楽しい交流の場を提供し、ふれあいと生きがいのある人生を送れるようサポートすることもコーチの大事な仕事です。

大会期間中、私たちはエイエイオー！の掛け声でお互いを励まし合いました。エイエイオーは「永泳謳」と書きます。いつまでも永く水泳を楽しみ人生を謳歌する。水泳でつながる私たちの共通の願いです。

令和5年度の反省と令和6年度の活動計画

競泳強化部 上野 幹夫

◎令和5年度の反省

1 通年の強化練習について

- (1) 計画通りに強化練習を行い、全体的に成果が上がっている。
- (2) 夏休みなど学校の長期休業中にも2部練習等効果的な練習を行うことができた。
- (3) 小学生、中学生、高校生とも新潟県の上位で活躍する選手が育ってきている。
☆北信越大会入賞・全国大会に出場するなど大きな成果を上げることができた。
- (4) 日曜練習では、A F A S 豊栄や I S C ウェル等と合同での練習で連携を図った。
- (5) 普及部からの選手勧誘を進めているが、選手数が増えない。今後の大きな課題。
- (6) 1月の能登半島地震の影響で、西海岸プールが閉館→鳥屋野プールで練習を継続。

2 試合等について

- (1) 試合数 年間15試合に参加
- (2) 年代別の成果
 - ①高校生 県大会・北信越大会上位入賞
 - ②中学生 県大会出場
 - ③小学生 B S N大会等出場しベストタイムを大幅に更新
- (3) 県・全国ランキング 各年代でランキング入りすることができた。(強化指定選手)

(4) 令和6年度も小中学生から高校生・大学生まで各年代で活躍できるよう強化する。

3 今後の課題

- (1) 全国大会入賞に向けた強化選手の発掘・育成。
- (2) 次世代の選手の育成と強化。
- (3) スイミングスクール、中・高体連等との連携と合同練習。
- (4) スタッフの安定的な確保とレベルアップ。
- (5) 練習場所の確保（日曜練習・早朝練習等・SC協会との連携）
- (6) 選手の勧誘と育成（普及との連携強化）
- (7) 大会遠征費等の経費負担の改善
- (8) 部活動の地域移行に伴う活動内容の拡充



◎令和6年度活動方針（案）

1 通年の強化練習について

- (1) 毎週火曜日～土曜日 17：30～21：00の時間帯でASと調整しながら練習を行う。
*夏場（6月～8月）の日曜日は屋外長水路での朝練習を効果的に行う。
- (2) (1)以外にも土日や長期休業中の強化練習を別途計画（プールと調整要）
- (3) 中・高体連やスイミングスクールとの合同練習を計画

2 試合について

- ・参加する試合の選択（選手育成の観点から積極的な参加を図る）
- ・大会のレベル・規模・選手のコンディション等を考慮して参加する。
- ・全国大会の出場を目標とするので、その予選会には全て参加する。

3 その他

- ・県水連との連携を図りながら活動を進めていく。

- ・普及部からの積極的な選手勧誘。
- ・コーチの確保に毎年苦慮している。選手の指導と仕事の両立が難しい。
- ・シニアチームの創設。（大学生・社会人を対象）

<主な大会日程（日程は予定）>

*この他にも大会が入ることがあります。

月	大会名	月	大会名
4	7日 柏崎アクアパーク記録会	10	13日 県スプリント選手権（長岡）
5	12日 ミドルディスタンス選手権（長岡）	11	17日 新水協親善記録会（西海岸）
	22日 高校地区大会（長岡）		
6	1・2日 県選手権（長岡）	12	8日 フリッパーズカップ（長岡）
	9日 県小学生選手権（長岡）		
	17・18日 中学地区（西海岸）		
	20～22日 県高校（長岡）		
7	7日 NST選手権（長岡）	1	12日 長岡新春（長岡）
	13・14日 県中学（長岡）		18・19日 新年フェスティバル（西海岸）
	19～21日 高校北信越（長岡）		26日 JO予選（西海岸）
8	4日 BSN大会（長岡）	2	9日 長岡室内選手権（長岡）
	8日 北信越中学（長岡）		
	10・11日 全国国公立（草津）		
	17～19日 全中（金沢）		
	17～20日 インターハイ（佐賀）		
22～26日 全国夏季JOC（東京AC）	3	1・2日 中村真衣CUP（長岡）	
25日 新潟市民大会（西海岸）			
9	6日 県高校秋季（長岡）	3	27～30日 全国JOC（東京AC）
	14～16日 国民体育大会（佐賀）		
	26日 新潟市新人戦（西海岸）		

令和5年度 日本泳法部の活動報告と 令和6年度 日本泳法部の活動計画

日本泳法部 藤原 智美

令和5年度 日本泳法部の活動報告

日本泳法教室 日曜日 13:30~14:30

西海岸プールで開催

指導担当 新潟水泳協会 日本泳法部

春 4/9~6/18 (8回)

秋 10/1~12/3 (8回)

冬 1/21~3/10 (6回)

第66回日本泳法大会

開催日 令和5年8月19日(土)、20日(日)

場所 千葉県習志野市

千葉県国際総合水泳場

第22回東京都日本泳法競技会

開催日 未定

場所 未定

第71回日本泳法研究会

開催日 令和6年3月23日(土)、24日(日)

場所 和歌山県和歌山市

令和6年度 日本泳法部の活動計画

日本泳法教室

【開催日時】 春 中止

秋 6回 (10~12月)

冬 5回 (1~3月)

【場所】 西海岸プール

【時間】 毎週日曜日 13:30~14:30

【指導担当】 新潟水泳協会 日本泳法部

第69回日本泳法大会

【開催日】 令和6年8月24日(土)、25日(日)

【場所】 広島県広島市ひろしんビッグウェーブ
(広島市総合屋内プール)

第72回日本泳法研究会

【開催日】 令和7年3月22日(土)、23日(日)

【場所】 香川県高松市

日曜水泳教室

西海岸普及部 後藤 寛幸

西海岸プール普及部は昨年やっと少しずつコロナの影響を抜け出して、後期から従来通りの教室活動に近づけてまいりましたが、この度の地震被害によって西海岸プールがまた大きなダメージを受けてしまい使用できなくなってしまいました。そんななか、西海岸公園プール及び鳥屋野総合体育館の館長、スタッフの方々の温かい援助を受け、なんとか1月一杯の準備期間を経て、2月から鳥屋野総合体育館のプールで教室を再開出来るようになりました。関係者の皆様には、感謝の言葉しかありません。本当にありがとうございました。今後は西海岸プールの再開が出来るまで鳥屋野総合体育館のプールにお世話になり、再開とともに西海岸プールで教室を運営する予定で活動していきたいと思えます。

そしてもうひとつの重大な出来事として、長年に渡って普及部の活動に多大なるご尽力を頂いた、松田 彰先生が3月末をもってご勇退される事となりました。松田先生と私は、水泳の指導の大先輩であり高校の先輩でもあります。そんな大先輩に私が時には好きなことを言ったりやったりしても、ドンと受け止めてくれて全体を上手にまとめてくれる本当に頼もしい大先輩でした。松田先生がトップに立ってからの西海岸プール普及部の方針は無事故で子供たちの笑顔溢れる指導を心がけ、尚且つ水泳を大好きになってもらうというものでした。

私達はその大きな庇護のもと、自由にのびのびと指導をやらせていただきました。大きな柱を失ってしまう私達ですが、佐藤 貴美子代表のもと微力ながらスタッフ一同で力を合わせて、西海岸プール普及部を盛り立てていきたいと思えます。

令和5年度の報告と令和6年度活動計画

AS部 大串真理子

令和5年度の反省

1. 通年練習

曜日別

シーズンの反省として体や四肢の動きの切れのなさが目立った。特に小学生が弱いのでピッチの早い動きの強化を考えてオフシーズンからすでに試みている。

夏休み

西海岸プール 土日朝練習

繁忙期につき1日練習ができない。

入水時間の不足分を入水後の陸上トレーニングで補う。

DP 土日練習

集中力、精神力、体力の強化に有効だが高速バス代・プール代、金銭的に負担が大きい。元旦の地震の影響でDPでの土日練習が毎週になってしまい、益々選手の家計の家計を圧迫している。

2. 強化合宿

チャレンジカップは1泊2日、北信越国民体育大会及び全国JO北信越予選は2泊3日で合宿を行う。

北信越は地元開催だったので会場のプールでの確認ができた。今回は50mプールでも練習が出来たので本番の水の重さが掴めた。合宿も大会も初めての小学生がいたのでシュミレーションを考えていたが1人が2日目に熱をだし脱落し、3日目にはメンバーの最年少の4年生が年齢的にも疲れがでて思うように練習が出来なかった。中学生、高校生は順調に仕上げていけたが小学生が肝心のチームを全員で合わせるが出来なかったので不安材料を残す結果となった。

3. 大会

日本アーティスティックスイミングチャレンジカップ

世界水泳が7月にあった。そのため、例年なら8月にあるチャレンジカップが2年続けて6月になったのでシーズン前半が忙しかった。しかし、

ASの基本であるチームに5人で出場することができた。中学1年2人、高校1年2人に高校3年1人だ。中学生がチームを経験できたのは何よりの強味だ。今後に期待が高まる。

国民体育大会

国体のブロック予選にあたる北信越国体にも高校1年の2人が出場することができた。3年続いたことになる。繋げることの大切さを感じる。

全国JOジュニアオリンピック夏季水泳大会AS競技

小学生チームに認められる最低人数の4人で5年ぶりに全国JO北信越予選に出場した。3人が大会未経験者の中で新ルールに伴い、リフトを3回も入れなくてはいけない演技を大きなミスもなく、よく頑張ったと思う。

中学生デュエットはフィギュア競技でミスがあり、得点が伸ばせなかった。ルーティン競技では確実にレベルを上げてきているだけに残念だ。

小学生・高校生そして今年の快挙は小学6年と高校3年の2人が標準点が高いソロで全国JO予選を突破して本選出場できたことだ。高校3年の選手は引退の年でもあり、長年の目標でもあった。

新ルールは、非常に得点を取ることが難しくなった。コーチの手腕が結果に即、反映される。と同時に選手もコーチが作った内容を正確に泳がないと更に減点される。益々厳しい世界になってきた。

4. 検定 バッジテスト

今年は快挙だ。受験者5人全員が受験級すべて合格した。



令和6年度活動計画(案)

1. 通年練習

新ルールではまず高さで得点が決まり、マイナス要素がそこから更に引かれる。減点の世界だ。高さを出す筋力、瞬発力、持続力の強化を図る。

2. 強化合宿

新ルールによりコーチはルーティンの各々の技に対して得点のレベルを記入するカードを作成し提出する。

1度、提出したら、変更はできないので選手の本番までの成長を見据えて作成する。合宿ではそこを見極め、修正する作業が今シーズンから多くを占めるようになってきている。

3. 大会

今年は残念なことに3年続いた北信越国民スポーツ大会の該当選手がいない。2023年に出場した高校1年の2人は退会した。本来なら高校3年とまでは言わないが攻めて今年、高校2年まで繋いでほしかった。

残された中学2年の2人と小学6年から上がってきた1年の中学生3人で今度はソロとデュエットで全国JOを目指したい。小学生は6年と5年の2人だがデュエットとソロで全国JO北信越予選で挑戦させたい。

現在、選手はこの5人になってしまった。

4. 検定 バッジテスト

選手の大半が目標のステージ(級)を取れているので今年は様子をみたい。



その他

普及に2人入ってきたが小学5年と6年だ。新ルールになって現役の選手でも難しい状況になってきている。週1回の練習ではとても間に合わない。せめて小学2年からでないと小学生区分の選手レベルにも間に合わない。

最後に毎回同じことを書いているが一向に改善しない。年初めに普及部にご協力をしていただき、エキシビションを普及の子供たちに見てもらおう予定だったのが地震でなくなってしまった。

現在、平日は鳥屋野プールにお世話になっている。ASは水深が深くないと練習にならない。しかし30年前、その鳥屋野プールでシンクロの練習をしていた。AS部には正に選手としてあの浅いプールで練習していたコーチもいる。県外では浅いプールで練習している強豪クラブもある。選手たちにはピンチはチャンスと言い聞かせ、浅いからこそできる練習をしている。一般客の中には30年前の練習を知っている方もいらっしゃる、励ましてくださる。感謝です。気が付かないところでも応援してくださっている方々に支えられていることを実感している。



HS部 令和5年度活動報告書 令和6年度活動予定

HS部 岡野 高志

私と水泳

レディース部 根本 千緒

◎令和5年度 HS部活動報告

月 日	活動内容	会 場
5月28日(日)	第23回新潟県障害者スポーツ大会水泳競技予選	西海岸プール
8月27日(日)	新潟市市民水泳選手権大会	西海岸プール
10月28～30日(土～月)	第23回全国障害者スポーツ大会燃ゆるかご島大会	鹿児島県
2024年2月25日(日)	2023年度ふれ愛水泳記録会	ふれ愛プラザ

◎令和6年度 HS部活動計画

月 日	活動内容	会 場
5月3～5日(金～日)	2024ジャパンパラ水泳競技大会	横浜国際プール
5月26日(日)	第25回新潟県障害者スポーツ大会水泳競技予選	ふれ愛プラザ
8月25日(日)	新潟市市民水泳選手権大会	西海岸プール
10月26日～28日(土～月)	SAKA2024全国障害者スポーツ大会	佐賀県
2024年2月23日(日)	2024年度ふれ愛水泳記録会	ふれ愛プラザ
3月(予定)	2024パラ水泳春季チャレンジレース	静岡県(予定)

昨年4月に、私はレディース部の部長として就任しました。水泳コーチとして、レディース部にお世話になってから10年目でのこの重責に、これまで以上に皆さんの協力を得ながら、レディース部全体が一丸となって水泳の普及に貢献できるよう努力して参ります。

水泳との出会いは私が小学一年生の時でした。その頃は身体がひととき小さく、2月生まれの私は他の子と比べて何をするのも遅れ気味で、両親が丈夫な体に育つよう私に水泳を習わせたのが始まりです。ひとつひとつ課題をクリアしながら上達していく過程で少しずつ自信がつき、たくさんの仲間と目標に向かって毎日練習する日々は、学校とは違った楽しさがあったのを強く覚えています。

中学3年まで本格的に向き合った水泳とはしばらく離れていた私ですが、30代で始めたテニスで腰を痛めて、ふと思いついたのが水泳でした。新潟で暮らして10年目に初めて訪れた西海岸プールでは、たくさんの方々が水泳を楽しんでいました。その中でも特に驚いたのは、年配の方々が元気よくバタフライを泳いでいたことです。

そこから水泳の楽しさがよみがえり、いつの間にか腰痛もなくなりました。ご縁があってレディース部での活動を始めるようになり、素晴らしい仲間や施設スタッフの皆さんと教室運営に携わり、たくさんの生徒さんの笑顔を見られる日々はとても充実しています。先輩方から学んだことは、生徒さんの「上手に泳げるようになりたい！」と願う気持ちに寄り添うことであり、私たちレディース部が一番大切にしていることです。

実を言えば、一度水泳をやめたのは、毎日の練習が厳しく辛くなり、コーチが怖くて水泳が大嫌いになってしまったからなのです。今は微力ながら指導する立場になっていますが、教えることを通して水泳が私の人生に潤いを与えてくれます。

プールでは老若男女経歴に関係なく、皆平等です。誰もが等しく楽しめる場所であるように、たくさんの方に楽しい思い出が出来るように、心して活動していきたいと思います。

今日も私はプールに来てくださった皆さんが安全に過ごせますようにと一礼して入水します。

編集後記



皆様のご協力のお陰で、『広報 新潟水協』第43号を発行することができ、心より感謝申し上げます。

昨年、学校向けプール製造の最大手「ヤマハ発動機」が、プールの開発・製造から撤退すると発表がありました。民間利用が進むなど学校が自前の施設を必要としなくなり、需要が減りつつあることが背景にあるそうです。

ちなみに文部科学省によると、小中学校や高校に必要な施設を定めた省令には水泳場についての規定はなく、学校指導要領では小学校と中学1、2年生で水泳の実技指導が必修とされているが、自校のプールで授業しなければならぬ決まりはないそうです。「適切な水泳場の確保が困難な場合」は座学のみでもよいとされているとのこと。

水泳指導は泳ぎの習得だけでなく、海岸線の長い新潟では、特に水難事故を防ぐという大切な役割があると思います。学校のプールが減ってきていることで、子どもの水泳教育への影響を心配してしまいます。今後、民間スイミングスクール等の外部施設や水泳協会の役割が、いっそう重要になりますね。